

ふみびと

第290号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

手紙のある 穏やかな時間

変わらなぬもの

子どもの頃からの友達。お互いぶり返されるのも恥ずかしい思い出を持ち合っている貴重な関係。子どもの頃は喧嘩をしたりして腹が立ったことも数えきれないけれど、いつしか些細な言い合いもないほど穏やかな間柄に。

子どもができて、お互いの環境もあの頃とは全く性格もほんのり丸くなって、考え方も接し方もきつとあの頃には想像もできないほど変わっているに違いないでしょう。それなのに「変わってしまった」と思うことも違和感を感じることもなく変わらず親しくできているのはなんだか不思議なものです。人は大人になるにつれ少なからず変わっていくもの。



そして変わっていかねければならないこともきつとたくさんあることでしよう。だからこそ「変わらぬ」関係でいられることにどこか安心するのもかもしれません。忙しく走り続けているような毎日の中、ちよつとだけ立ち止まって休んだり、あるいは少し戻って振り返ってみるようなほんのひとときのささやかな時間のような。

ずいぶん日が長くなった。ついでこの間まで、夕方になったかと思つとあつという間に日が落ちていたのに、今は夕暮れを味わう余裕がある。類にあたる風はまだ冷たく、「これからが寒さ本番」と身をすくめたくなるけれど、見上げる日差しは柔らかく、確かに春は近づいているのだと教えてく

れる。「光の春」は「気温の春」よりもずつと早いのだと、誰かが教えてくれたのを思い出す。毎日同じように寒さを繰り返しているようでも、自然というのはコツコツと少しずつ歩みをすすめ、

光の春

ちやんと季節を巡らせている。その「コツコツ」がなかなか難しい身からすると、季節に置いてきぼりにされてしまう気がわずかにしてしまふけれど、やさしい日差しはそんな焦りもやわらげてくれる気がする。寒さについて丸めてしまふ背中をすつと伸ばして、新鮮な春の光を楽しみたい。

風に乗って誰かに届け！ 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の返筒にのりをつけて、事務用封下まで流し込みます。



次回発送日

2月、3月発送日

少しずつ変わって、少しずつ成長していくことは大事なことです。それでも変わらないところも同じくらい大切に感じたいものです。「変わってないなあ」ふとした時にお互いに口にし合う何気ないそのひと言が、成長したことよりも少し嬉しく感じる時もあるから。例えばそれが少しの欠点であっても、誰かにとつての「変わらぬ」安心になつていようような気がします。

みんなの目標

2月10日頃サイト上で発表です お楽しみに！